

令和6年度 第7回

日南市教育委員会

会議録

令和6年9月20日(月) 午後3時から
日南市役所別館2階会議室5

- 1 会議の名称 令和6年度教育委員会 第7回会議（定例）
- 2 会議日時 令和6年9月20日（金）
午後3時00分から午後4時10分まで
- 3 出欠確認
 - （1）出席委員 都甲政文、黒木由香、別府信一、八木真紀子、佐藤泰信
 - （2）事務局 教育部長兼学校教育課長
学校教育課学校教育担当監
学校教育課課長
学校教育課管理係長
学校教育課学事係栄養士
学校教育課管理係主任主事
- 4 場所 日南市役所別館2階会議室5
- 5 傍聴者 2名
- 6 開会
【都甲教育長】
「それでは、令和6年度第7回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。教育委員5名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【田中部長】
「事務局は、全員出席です。」

【都甲教育長】
「本日傍聴の方は2名ですね、よろしくお願いします。」
- 8 活動報告
 - （1）教育長活動報告

【都甲教育長】

・8月26日、今回は榎原中学校の始業式に伺いました。全校生徒元気に登校しております、帰りにですね、なんかここの生徒たちが南那珂U-14っていうバレーボールチームを作ってます、串間中と北郷中と。その全国大会に前日の昼まで行ったらしくてですね、行ってきましたと、最後に報告があつて帰ってきました。

・それから26日。この日の夜ですけれども、健康にちなん21推進委員会。これ健康増進課がやってるんですね、市民全体が計画を立てて健康増進を図っていくということで、うちは部長の方が学校関係の歯のこととかですね、体重のこととかいうふうなことを発表しました。

・続きまして、校長会が28日にありました。2学期始まってすぐだったんですけども、まずは地震があったもんですから、防災について9月に入ってそれぞれの学校が避難訓練やるもんですから、それについてまたお願いしたところでした。

・9月4日、細田小学校が避難訓練をやるってことで見に行きました。あそこはですね、運動場の山側が壊れるというようなことらしいんですよ。だから運動場には避難しないんですね。まず校舎の一番校門に近いところ、あそこちょっと高台なんですね。あそこに行つて、そして体育館に移動して、部屋に帰って今度は振り返りをしたんですけど、この振り返りが8月8日それぞれ地震があったけど何してたっていう振り返りで、なかなか面白かったです。やっぱ中にはもう足がすくんで動けなかったとかですね。そういうのを共有することによって、家にいる時はこうした方がいいねということ。担当の先生も自分の体験を話されてですね、自分だけ机の下に潜ったら旦那さんと子どもさんが隠れるところがなかったとかですね、本当の地震だったらそういう状況になるよと、そういうことを言われました。

・9月4日エクセルシア祭。日南高校のやつなんですけど、初めて3年生の劇を見に行きました。やっぱり最後ですので、みんな気合いの入った劇をしてくれて楽しかったです。

・9月5日、ベルリンキング。これは黒木委員にも来ていただいたんですけども、ポーツマスの条約が結ばれた2時47分ですよ。2時47分にベルを鳴らすってことで行つて参りました。

・それから同じ日の帰って4時半から、今度はシンガポールから帰ってきた北郷中学校の生徒たちが報告に来てくれました。久しぶりの交流ですね、いろんなびっくりしたこともたくさんあつて、楽しかったみたいです。そして勉強にもなったみたいです。

・9月8日、日曜ですけど、この日は中村地平という宮崎の作家がいたんですけども、うちにいろいろと縁のある小松さんっていう芸術家の方が今回映画を作られまして、無料上映会があったのでそれを見に行かせていただきました。なかなか良いドキュメンタリー映画で、全体で80名ほど来ていただきました。

・9月17日、終日かけて先ほど申しました延岡市の教育委員会に行つて、学びの学校、それからリモートの配信について、視察をして参りました。

・9月19日、昨日ですけども委員の皆さんにも出ていただいたんですけども、国スポの

準備委員会が実行委員会に変わったと、正式に決まってですね開催が。そういう会議に出て参りました。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

昨日、国スポの準備委員会と総会に出席させていただきました。

それと本日ですね、教育支援センターさんとの意見交換会。毎年多くの気づきをいただいているところで、本当時間があっという間にすぎるぐらい、ちょっと足りないなと思って、いろんな気づきを得たところなんですけれども、1つ気づいたのが浜田さんのお話で、まだその感覚ではフリースクールや支援センターと学校とかで関わってない繋がりが無いお子さんが大体半分ぐらいまだいらっしゃるんじゃないかというところで、やっぱりその半分の児童さんが気になったところではありました。もしこれがリモートを取り入れることによって、その子たちとの社会との繋がりができて、救われる子も出てくるんじゃないかなと思ったところであります。またいろいろと家庭の問題とかそういったのもまた聞くことができましたんで、今後ですね、また先生たちもいろいろご協力いただきながら頑張っていたきたいなと思ったところでございます。

【佐藤委員】

すみません。しばらく来られません。8月8日にうちの幼稚園の方がちょっと被災しまして、対応でちょっとこれなかったんですけども、避難訓練で8月8日を振り返ったという話も今出たんで、私もちょっと振り返ってみたいと思うんですが、やっぱり日頃の訓練がやっぱりすごく大事ななということで、子供たちもすごく迅速に避難してくれてですね、けがはなかったんですけども。今キネマ館、宮崎の、映画があってるんですよ。大川小学校。東日本大震災で、唯一かな。ほとんどの学校はちゃんと子供たちは無事だったのに、この大川小学校だけ全児童の7割に相当する70人が亡くなったと。それはなぜかっていうドキュメンタリー映画なんですよ。これ見ますと、第一次避難が校庭で、そこで40分から50分待機してるんですよ。一体どうするかどうするかというのが決まらずに、ざっくり言っちゃうと、残念ながら訓練をちゃんとしてなかったみたいですね。教育委員会にはやってますって言って報告してるけど、実はやってなかった。で、2次避難場所を決めてなかった。校長先生はその日いなかったということで、結局どうするどうするっていうことになってしまったということなんですね。結局裁判で8年ぐらいかかって、やっとその学校側のやっぱりそういった不適切な対応が原因だったということになったんですけども、その時の裁判官のコメントが、やっぱり学校というところが子供たちの最後の場になってはならないと、そのようなことを言われて、本当にそうだなと。今回本当に運良くけがが出ませんでしたけど、時間帯がずれてたりすればわからなかったわけですよ。南海トラフが来るという確率も高まってるんで、各学校、幼稚園保育園も頑張らなくちゃいけないけどですよ。全体として、何かこう支援したりとかですね、お金もか

かるわけですね。備蓄場所を作るだけでもお金がかかりますし、優先順位から最低これはやっぱり備えところとか、そういうことをやっぱり話し合う必要があるんじゃないかなというふうに思います。

それから今日の情報交換でもですね。それぞれが非常によくされてるし、子供たちのことを思ってるなと。そういう方がいらっしゃるの本当心強いとこなんですけど、別府委員からもあったように半分しかやっぱ対応されてない、できてないっていうところを考えると、やっぱり学校の方も難しいと思うんですけど、これだけ不登校が出てくるということは、やっぱり今の社会、子供たちの実態にやっぱ合わないところがたくさんできているんじゃないかというところは考えるべきかなと思うんですね。子供が変わるか学校が変わるかっていったら、子供って簡単には変わらないで社会的な要素もいっぱい関わってるんで、各家庭が、子供がやっぱ変わらないと駄目でしょ、では無理だと思うんですね。だからハードルなかなか高いでしょうけど、学校側もやっぱり今の実態に。やっぱり学校が嫌だって非常に教員やってた者からすると、何と悲しい言葉だと。学校に行きたくないっていうのはですね。やっぱりそういう子が少しでも減るように、また何かできるところをですね、頑張りたいと思った次第です。

【八木委員】

昨日は国スポの方に行ってなかったんですけど、私は環境審議会の方に参加しまして、そこでカーボンゼロについて、その対応について、そっちの会議の方に参加させていただきました。あと世紀末にはあと4度気温が上がるということで、学校でも小学校5年生ですかね、冊子を国の方から配っていろいろ教育とかあってると思うんですけど、やっぱりそういうこと、環境のことを子供たちにもうちょっと伝えていかないと、学校ですね、いけない時代が本当に来ていて、もう本当にかなり深刻だというのを感じました。

それから、さっきの相談員さんたちとの意見交換ですけれども、いろいろ出たんですけどやっぱり一番最初に出たのが母親の支援っていうことで、そういう場が日南市にないというのは本当に大きな問題だと思うので、そういう場所を提供するというか、そういう安心できる場所、母親にとっても安心できる場所が必要なんじゃないかなと思いました。

リモート学習についていろいろ提案が出たんですけど、こないだ全国教育委員さんたちとのリモートでその時に話が出たので、もう企業の方のリモート学習をやるっていうところもありました。5万人程度の人口なのでちょっと予算までわからなかったんですけど、資料にはいくつかこれを使ってますっていう形で記録してると思うんですけど、そういうやり方もあるのかという。リモートで学習するシステムを作るのは大変なので、そういう企業を利用するのもいいのかなとちょっと考えています。

【黒木委員】

私の方が9月の5日の日に、学園のベルリンキングに今年も参加させていただきました

た。決まった時間に一齐にベルの音が鳴るというなかなか日常ではない、時間も 30 秒。みんなと一緒に平和を願ってベルを鳴らして、また今年も 1 年過ぎたなと思ったんですけど、こういう行事がもっといろんな方に知られるといいなっていうのと、学園の生徒さんたちは常にそういう意識を持って学校生活を送ってるんだなあと思いながら、また来年。また別の方が行かれてもいいのかなと思って、何か私だけがそういう出るようなね、なんか申し訳ないっていうか、こういうことがあるんだよっていうのを他の方に知ってもらうのも何かいいのかなと思ったりして。

【都甲教育長】

輪番制みたいな。それは考えてみましょうか。

【黒木委員】

なんかいろんな方が鳴らすといいのかなと思ったりもしたところでした。

19 日の日が午前中、日南市の文化の日に表彰がある功労者の審議委員会に参加させていただいて、今年も日南市のために長年にわたって大変尽力いただいた方が推薦されてきたということで、また発表は後程のお楽しみということになるんですが、11 月の 3 日の日文化の日に表彰があるということなので、そちらの方にも参加させていただきたいと思います。

あとは国際塾にちょっと 1 回見学させていただいて行ってきました。中で休憩時間があって、子供たちはその休憩時間に何かお弁当を食べたりとか、やっぱり時間帯がそういう時間なので、お母さんがお弁当を作って、合間の休憩時間にお弁当食べたり、お菓子食べたり、みんなその開塾式とか閉塾式で見るような表情ではなくて、リラックスしているんな学校の子と歓談して楽しい時間を過ごしていたので、とてもいい活動というか取り組みだなと。これはまたずっと続けていくべき活動の 1 つだなというふうに、またちょっと覗きに行こうかなと思います。

今日の先ほどの教育支援センターの先生方との意見交換会は、本当に毎年充実したもので、もう時間が本当に足りなくて、いろんなことを考えさせられる時間なんですけど、やはりリモートとかそういうタブレットで学習っていうところの一長一短をやっぱり考えてしまうなあ。じゃあもう学校行かんでもいっちゃないっていう子が増えるのも困る。私の中ではそういったマイナスの面もあったりするので、学校は勉強をするためだけに行くんじゃないよって。例えばリモートで授業を受けても、なぜ学校に行くのか、そこを子供たちに学校に行く意義と課題と、自分が何をそこで得たいのかっていう、そういう始まりから終わりを子供たちに考えてもらいたいなあ。AI とかそういったものに頼るのではなく、自分の力で考える力をやっぱり小さい頃から育ててあげたいなと思った時間でした。

9 前回の議事録承認

第 6 回の議事録について了承

10 研修

「日南市における食育について ～学校での取り組み～」

倉岡栄養士説明

【別府委員】

すいません、ありがとうございました。限られた環境の中ですごく工夫をさせていただいて、本当ありがたいなと思っているところでございます。1つちょっと僕の方から給食の食育肥満という観点からで、これ、自分が教育委員になる前の話なんで、かなり前の案件になるんですけども、ある保護者の人が小学校から中学校に上がるとその給食時間というのはずっとタイトになって、片付けなどを考えると実質食べる時間が15分ぐらいになってしまっていると。結局その子は食べきれなくて残してると。そのことで給食時間を何とかしてくれないかということで相談したんだけど、それはちょっとやっぱりできないということで、うちもその特別の中学にいたものですから、聞くところによるとやっぱ最初1年のときはみんな結構食べきれずに残してたけど、3年なるともう早く食べれるようになって。結局早く食べるっていうことはやっぱ肥満に繋がったりっていうところもあったりとかするなかで、今の給食時間っていうのがあれからまた改善されてるのかっていうのと、また今のその中学校の給食時間っていうのが、食育をするにあたって適正な時間帯になってるのかどうかというのをちょっと教えていただければと思います。

【倉岡栄養士】

答えといたしましては、校時程の方の関係上がありますので、これまでと同じような時間帯になっております。どこの学校も見てみますと、大体給食の準備から片付けまでの時間を合わせて大体45分程度。なので、どうしてもその時間を準備からというところと言うと委員の仰る通り、食べる時間が十分と言われると、どうしてもちょっと十分とは私の方とも言えないっていうところが回答の方になります。どうしてもちょっと校時程の方の関係がありますので、なかなか延ばしますとは言えないんですが、給食主任の先生方もスムーズに準備を行って、給食時間を確保できるようにとか、そういったご意見の方も給食主任研究会の方でいただいたりとかするので、そこの方はまた考えさせていただきたいと思います。

【佐藤委員】

失礼します。丁寧な説明ありがとうございます。給食費が271円というのがものすごく安いと思うんですけど、これで賄えるんですね。

【倉岡栄養士】

今のところ頑張って小学生が271円、中学生が313円。この中にはもちろん牛乳代も含めてになっております。なので実際今物価高騰などいろんな問題を抱えており、その中でもちょっと地産地消を推進しようというところになるとなかなか厳しい状況にはなってるんですが、そこの方でも栄養教諭の先生方、もちろん給食の栄養バラ

ンスを考えて彩りだったり、あと地産地消、共同でそういったものを工夫しながら本当に頑張っていたいております。

【佐藤委員】

今のご説明の中でありましたけど、生きる上での基本ですよ。本当食べるっていうことはですね。もうちょっとお金をかけないと。すごく地産地消も大事だし、いろいろ別の市町村なんかで無農薬とか添加物の少ない食材をと、取り入れてるところもありますよね。例えばそういった食材はどうしても高くなってしまいますので、なかなか取り入れるのは難しいかと思うんですけども、本当にこれから100年生きる子供たちの基礎を今作る。その食の3分の1がこの給食なので。私が宝くじ当たればポンと給食に使ってってするんですけど。この値段でですね、相当ご苦労があるんじゃないかと思いますが、ちょっと声出していかなといかなですね。もっと良い食材を安心して使えるような、やっぱ給食であるように、はい。予算も増えるといいなと思いました。

【倉岡栄養士】

それの方はぜひとも声をまた上げていただいて、日南市の給食の充実に反映できればと。給食牛乳代が64円なので、もう本当にご飯と大きいおかずと汁物が二百何十円に、そのレベルです。

【佐藤委員】

やっぱり安い食材が全部悪いとは言いませんけど、かなりいろいろ加工されたり、添加物が入ったりしてるんじゃないかと思ってしまいますので、地産地消も然りですけど本当にやっぱ子供たちに安心して食べさせられるように。そのためには予算をですね、あげていただきたいなと思いました。

【八木委員】

私からはやっぱり食べ残しが多いっていう話も聞いてるんですけども、これだけ苦労してやってもやっぱり食べれない子供もすごく多いとお聞きしてるんですけど、そういう何か対応っていうかですね。メニューとかも作られるの大変なんじゃないかなと思うんですけど、その辺お聞かせ願います。

【倉岡栄養士】

残食の方については毎日ではないんですが、残食調査の方も行っております。やっぱりその中で食べ残しの多いメニューっていうのもあると思うんですが、いろんな食材の方に触れ合っていたきたいということで、栄養教諭の先生もいろいろ工夫しながら食材の献立の方を立てていただいているところです。今食べ残しているところで、学校の方でも完食できるように、最初は基準量をお注ぎいただくんですが、食べれる量ということで最初に減らして、自分で完食できるようにっていうところで取り組みを行っていたりするので、またその量の調整は各学校と連携しながら行ってあります。特に1学期、初めての1年生は食べる量の方がわからないので、最初に少なくして徐々に多くしていったりとか、そういった量の調整も行っておりますので、残食の方は今多い少ないっていうのはすぐお答えできないんですが、前調べ

した時にはそこまで多い状況ではなかったと思います。本当においしいって言うていただいているんですが、是非とも實際来ていただいて食べていただくのも1つの手かなと思っております。ぜひご参加をお待ちしております。

【黒木委員】

食育というところで、ここにあった食に関する正しい知識っていうのは、どういったことが正しい知識として子供たちに伝えたいって思っているのかなっていうところで、教えていただければと。

【倉岡栄養士】

正しい知識としまして、こちらの方といたしましては、日南市の食育地産地消推進の方で、朝ご飯についての調査を毎年行っております。私の方の考えというか、こちらの方の正しいになるのかわからないんですが、その中でどうしても毎日朝食の方を食べる子供の割合、どうしても100%というか結構80%。やっぱり週の半数食べてらっしゃらないお子さんの方も数値として、徐々に多く見られるようになっております。やっぱり「食」食べる上で、そしてまた1日の始まりの朝食という部分の方で、学習面にも影響することありますので、市としても食育、朝食の方も含めてまた給食の方をお手本というか見本として、そういったものを日頃の中で学んでいって、そういったちゃんとしたというかその食事バランス、そして食べる意義、そういったものを日頃から学んでいただいて、そういった基本的な知識を得ながら大人になっていただければなというのが、すいません回答になるかわからないですけど、私の方の意見として。

【黒木委員】

先生のお話からすると、年々朝食をとらない子供が増えてきてるなという感覚があまりになる感じですかね。

【倉岡栄養士】

やはりそうですね、今年取った時にはやはり前回というか、例年と比べて増えてきている。ちょっと良くなっているというか、現状維持。そしてかつ少し悪くなっているという感覚の方を、ちょっと今年調査の方で思ったので、そういったところの方も推進できていければなと思っております。

【黒木委員】

もう1ついいですか。堅いものが噛めなくなってきたなあと思ったりすることってありますか。子供の噛む力。堅いもののときに残ってることが多いとか、何かこう。

【倉岡栄養士】

すみません、ちょっと実際、栄養教諭の先生の方とそこのついでの話をしたことがないんですが、意図的に給食の方のメニューで、噛むメニューということでごぼうだったりレンコンだったり、そういった「噛み噛みメニュー」という、献立を入れていらっしゃる先生もいらっしゃるの、やはり噛む力というところの方も、先生たち献立を立てる上での見ているところの視点の1つとしてはあると思います。

【八木委員】

もう1つ質問ですけど、前に給食を試食させていただいた時に、朝ご飯を食べる人は多いけども、1つの食品、菓子パンだけとか、そういう子供がすごく多いいって話があったんですけど、そういう指導っていうのは学校ではされてるんですか。食育として何かそういう傾向があるって話を聞いたんですけど。

【倉岡栄養士】

ありがとうございます。授業のうちの1つとして、やはり朝ご飯というところの方で授業を行っている先生もいらっしゃいます。その中で事前アンケートをとるんですが、食べていますか。その中のうちアンケートの1つとして、やはり「どういった内容を食べていますか」ってなった時に、やはりなかなか主食主菜副菜のそろった食事というところの方はやっぱり極めて理想なんですけどそこまで多くはない。やはりちょっと主食のみ、何かのみといったそういった食事のほうも、アンケートの実態の調査結果としてやはりよく上がってきているという内容の方にはなるんですが、ちょっとまだそこまで踏み込んだ対応がちょっと市としてはできていないところが現状です。

1 1 議事について

議事 1 令和6年度他市町村教育委員会との意見交換会について

(武田主任主事) (都甲教育長)	令和6年度他市町村教育委員会との意見交換会について説明。 なんと希望を取りましたところ、高千穂町がトップってことで、これは言わしていただければ、朝早く出発せんといかんですね。この前ちょっと延岡まで行ったんですけど、ずっと高速を通って1時間半ちょっとぐらいで延岡に着きました。そこから日之影町までは道路通ってるので割と近いんですけど、8時に出て午前中ぎりぎりぐらいつくかなあと高千穂は。で、お昼食べてから2時間ぐらいあって、向こうを3時ぐらいに出て帰ってくるのは6時過ぎかなということですね。皆さんが高千穂って書いて、行きたいと。我々としては全然構わないですが。いいですよ。
(佐藤委員)	これ特別栽培米が何か新聞に載ってましたよね。なんか2月ぐらいから始めたと。昔教育長が一緒だったんですけど、やっぱりいろいろとご苦労があったみたいでですね。その辺でできれば先駆けて、日南市もそういった取り組みができると。
(都甲教育長) (佐藤委員)	これは結局あれですか、オーガニックみたいな考え方ですか。 基本的にはそうだと。

(都甲教育長)	今ちょっとオーガニックがいろんなところで、はい。出てるよね。
(佐藤委員)	そうですね。ただ簡単ではない。やっぱりオーガニックとか無農薬って言うと、目の前に生産者がいらっしゃるわけですよ。農協の指導でこの農薬使って、この化学肥料使ってやってる方達が、何だ俺たちの食えんと言うのかっていうところで、難しいところがあったというようなことですね。添加物を減らすという方向だったら取り組みやすいんじゃないかっていうお話もあったりするんです。
(都甲教育長)	できれば流れとしては教育委員会に寄って説明を受けながら、特別栽培米おにぎりぐらい食べさせてもらいたいですね。さすがに学校にて給食食わしてくれってのちょっとね、学校に迷惑かけるので。ちょっとだけでもこうなんかこう味見でもさしてもらおうと。
(八木委員)	地域の公民館とかそういうところと繋がって、その教育をやっているでなんか国の賞とってますよね。高千穂町、地域との連携でも面白いのかなと思って、私も書かせてもらったように割と話題が豊富ですよ。
(佐藤委員)	委員会活動の取り組みって何なんですかね。
(八木委員)	だからそういうことなんですよ。国のなんか、ごめんなさいちょっと。その時にネットで調べて、こういうこともあるんだと思って。委員会っていうのは、教育委員会の取り組みとしてそういう地域との連携とか、そういうことをやってらっしゃるっていうのが、そうですね。評価されている地域のかなと。
(黒木委員)	ここの教育長さん、恩師なんですけど。
(都甲教育長)	それは行かんといかんじゃないすか。
(黒木委員)	PTA の教育講演会にも睡眠の話で来てもらって、早寝早起き朝ご飯で、それを町内の取り組みとして放送で子供たちの声で流して意識づけるっていう取り組みをしてるとかいった、なんかこう地域密着、この規模だからできるんだよねっていう話をされてたんですけど、何かこう面白い。もう話題が詰め込められてて、ちょっと遠いけどっていうところで。
(別府委員)	決して来いって言われたわけじゃなくてね。
(都甲教育長)	実を言うとですね、中身話をする、皆さんこういう研修なんですけど、旅費がないんですよ。うん。本当ならね、本当なら 1 泊ぐらいして、この高千穂町も一泊ぐらいできるとゆったりあるんですけど。めったに行かんから、他のものも例えばいろんなところ見てもらう、見せてもらいながら説明受けてってできるんですけど。ちょ

(八木委員) (都甲教育長)	っと難しいので強行になりますけどいいですかって話なんです。 前に実費で行ったことがありますよ。美郷町に行った時実費でした。 実費で行ってくれて、これは私たちからは言えんからですね。 皆さんのお話の中でこうあれだったらわかりますけど、なかなか。 そうですね。やっぱ3時間ぐらいかかりますね。途中の休憩入れたらね。
(黒木委員) (都甲教育長)	運転される方がね、大変そうなんですが。 何だかんだ言って10人ぐらいなので、マイクロがいいのかなあ と思って。ゆったり乗れるからですね。ちょっと今日みたいな車だ ともういっぱいいいいなので。
(八木委員) (都甲教育長)	休憩場所がね、川南のみしかないですよ。そんなにないんです よ。そこはちょっと運転する方が大変かなって。 運転する方はずっと運転をされている方なのでね。その人からい ろいろ要望があれば途中で休んだりもできるんで。
(上村補佐) (都甲教育長)	運転の方も分かっているんじゃないかなと思います。 いろいろ縁もあるみたいですし、戸敷先生ですよ。だから高千 穂行きましょうか。じゃあね、高千穂ってことで、また調整をお願 いします。あんまり寒くなるといけないので、できれば11月の頭ぐ らいに遅くともいけるといいですね。 またちょっと高千穂の勉強をしておいてください。何か聞きたい ことがないかですね、お願いします。はい、じゃあ高千穂OKって いうことで。

1 2 その他

(1) 10月行事予定について

(2) 市内文化財視察

- ① 日時 令和6年10月24日(木) 午後1時15分から
- ② 集合場所 日南市役所本庁舎玄関前
- ③ 内容等 現在調整中

(3) 第8回 教育委員会会議(定例)

- ① 日時 令和6年10月24日(木) 午後3時から
- ② 場所 日南市役所・別館2階会議室5

(4) その他

1 3 閉会